

5 参加申し込みについて

参加資料代 1,500 円（討議資料代・記録集代）

各市町村、学校、企業、関係機関等でまとめていただき、下欄の申込書にご記入の上、**7月19日(金)まで**に参加券を購入手ください。当日受付も可能ですが、事前申し込みにご協力ください。

申込先：第49回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会実行委員会事務局（鳥取県人権教育推進協議会事務局）

〒680-0846 鳥取市扇町 21 県立生涯学習センター内 tel 0857-22-0578 fax 0857-22-0593

代金は、振込（手数料は自己負担）、現金書留（切手貼付の返信用封筒同封のこと）、または直接持参をお願いします。

6 弁当について

弁当代 800 円（お茶付き）（予約のみで、当日販売はありません。）

市町村等で弁当のご要望がある場合は、下記までご連絡ください。（7月19日(金)まで）

（問い合わせ先）鳥取県人権教育推進協議会（0857-22-0578）

倉吉市人権政策課（0858-22-8130）

7 その他

全体会は手話通訳があります。託児はエースパック未来中心（9:00～16:30まで）で行います。各分散会につきまして、手話・要約筆記等のご要望がある場合には、あらかじめ実行委員会事務局に、電話、FAX、メールでご相談ください。（7月19日(金)まで）

tel 0857-22-0578 fax 0857-22-0593 メール kenjinkyu-1@road.ocn.ne.jp

< 後 援 >

鳥取県 鳥取県教育委員会 倉吉市 倉吉市教育委員会 湯梨浜町 湯梨浜町教育委員会 三朝町 三朝町教育委員会 北栄町 北栄町教育委員会 琴浦町 琴浦町教育委員会 鳥取県議会 鳥取県市長会 鳥取県町村会 鳥取県市議会議長会 鳥取県町村議会議長会 鳥取県市町村教育委員会研究協議会 公益社団法人鳥取県人権文化センター 鳥取県同和对策協議会 部落解放同盟鳥取県連合会 部落解放・人権政策確立要求鳥取県実行委員会 鳥取県子ども家庭育み協会 鳥取県国公立幼稚園・こども園長会 鳥取県私立幼稚園・認定こども園協会 鳥取県人権保育連絡会 鳥取県小学校長会 鳥取県中学校長会 鳥取県高等学校長協会 鳥取県私立中学高等学校長会 鳥取県特別支援学校長会 鳥取県PTA協議会 鳥取県高等学校PTA連合会 国立大学法人鳥取大学 公立大学法人公立鳥取環境大学 鳥取看護大学・鳥取短期大学 鳥取県公民館連合会 鳥取県隣保館連絡協議会 鳥取県児童館連絡協議会 鳥取県連合青年団 鳥取県連合婦人会 社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会 社会福祉法人鳥取県身体障害者福祉協会 一般社団法人鳥取県手をつなぐ育成会 鳥取県精神障害者家族会連合会 日本労働組合総連合会鳥取県連合会 鳥取県教職員組合 鳥取県高等学校教職員組合 鳥取県職員連合労働組合 自治労鳥取県本部 部落解放鳥取県共闘会議 一般社団法人鳥取県経営者協会 鳥取県商工会議所連合会 鳥取県商工会連合会 鳥取県中小企業団体中央会 一般社団法人鳥取青年会議所 鳥取県農業協同組合中央会 一般社団法人鳥取県建設業協会 一般社団法人鳥取県東部建設業協会 鳥取市人権啓発企業連絡会 倉吉市人権啓発企業連絡会 米子市人権問題企業連絡会 鳥取県在日外国人教育研究会連絡会 (株)新日本海新聞社 山陰中央新報鳥取総局 朝日新聞鳥取総局 産経新聞大阪本社 毎日新聞鳥取支局 読売新聞鳥取支局 中国新聞鳥取支局 NHK鳥取放送局 日本海テレビ TSKさんいん中央テレビ BSS山陰放送 株式会社エフエム山陰 テレビ朝日鳥取支局 時事通信社鳥取支局 日本海ケーブルネットワーク株式会社 株式会社中海テレビ放送 (順不同)

キ リ ト リ セ ン

第49回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会 参加券申込書

市町村及び団体名	TEL	FAX	申込数	参加券 枚
住所 (所在地)	〒		金	1,500円× 枚
申し込み責任者			額	円
会場別 参加予定人数	分散会	会場	参加にあたってご要望がある場合は、事務局へ電話、FAX、メールでお知らせください。 (7月19日まで)	
	企業・社会教育関係団体	ハワイアロハホール 大ホール		
	市町村人推同教・自主活動団体	エースパック未来中心 小ホール		
	就学前・小学校	倉吉体育文化会館 大研修室		
	児童館・義務教育学校	倉吉交流プラザ 視聴覚ホール		
	中学校・高等学校	上灘コミュニティセンター 会議室		
	人権課題(同和問題)	エースパック未来中心 大ホール		
人権問題学習講座①	伯耆しあわせの郷 大研修室			
人権問題学習講座②	エースパック未来中心 セミナールーム3			

開催要項 第49回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会

主催 鳥取県人権教育推進協議会

第49回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会実行委員会

テーマ 「人権尊重社会の実現に向けて、研究と実践を交流しよう」

ご 案 内

人権が尊重される社会の実現に向けて、日々ご努力いただいている県民の皆様から感謝の意を表します。

1974（昭和49）年、部落問題の解決を全県民の力で成し遂げようとの願いから出発した本研究集会は、回を重ねる中で部落問題をはじめ様々な人権問題に気づき、それを解決しようとする広がりや深まりを持った集会へと発展してきました。これまでの成果をもとに本年も新たな取り組みをしなければなりません。本研究集会の一層の充実と発展をめざし、5年ぶりに午前全体会、午後に分科会という日程で「第49回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会」を開催いたします。

社会に存在する具体的な人権問題について県内各地域における実践を持ち寄って交流しましょう。そして自らの問題として話し合いを深め、互いの実践の成果に学び合う研究集会にしていきたいと思います。

私たち県民の研究集会として、多くの皆様の参加をお願いします。

1 目 的

本研究集会は、今日まで積み上げてきた差別の現実から深く学ぶ実践・交流の成果を踏まえ、部落差別をはじめあらゆる差別をなくし、人権尊重社会の実現に向けて、全県民を対象とした集会として開催します。

2 期 日 ・ 会 場 ・ 日 程

2024年8月2日(金) 9:45～16:00

会場 エースパック未来中心 倉吉交流プラザ
倉吉体育文化会館 伯耆しあわせの郷
上灘コミュニティセンター ハワイアロハホール

9:00	9:45	12:10	13:15	14:15	14:30	15:30	16:00
受付	全体会 開会行事・基調提案 Paix ² (ペペ) コンサート	昼食・休憩 移動	分科会・分散会 (報告・討議)	分科会・分散会 (報告・討議)		総括 閉会	

3 参加資料代

1,500 円（討議資料・記録集代） 記録集は年内に送付予定です。

4 入場時の混雑緩和のためのお願い

○事前に必ず、参加票と記録集発送票に名前、所属、住所等を記入しておいてください。受付では、事前に記入した参加票と記録集発送票を受付のボックスに入れてください。

○討議資料は、全体会受付時にお渡しします。午後のみ参加の場合は、各会場でお受け取りください。

第49回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会 各会場の内容

分科会	1 人権文化社会の創造		2 就学前・学校教育の創造			3 共生社会の創造	4 学習講座	
討議の視点	○すべての人の人権が尊重される地域づくり、社会づくりをどのように進めていくか。 ○社会教育関係団体・企業・行政等での人権学習・啓発をどのように進めていくか。		○子どもに向き合う人権教育・保育をどのように進めていくか。 ○一人ひとりの子どもの進路保障にどのように取り組んでいくか。 ○子どもたちの仲間づくりや自主活動をどのように進めていくか。			○同和問題の解決に向けて、県民(NPO等市民団体)が関係機関とどのように連携を深めていくか。 ○さまざまな人権課題を明らかにし、その解決と共生社会の実現に向けて、県民(NPO等市民団体)がどのように取り組んでいくか。	○さまざまな人権問題に対する基本的な認識や考え方を深め、解決に向けた運動や取組にどのように生かしていくか。	
分散会	1 企業・社会教育関係団体	2 市町村人権同教・自主活動団体	1 就学前・小学校	2 児童館・義務教育学校	3 中学校・高等学校	1 あらゆる人権問題(同和問題)	人権学習講座	
会場	ハワイアロハホール 大ホール 湯梨浜町はわい長瀬 584 0858-35-5678	エースバック未来中心 小ホール 倉吉市駄経寺町 212-5 0858-23-5390	倉吉体育文化会館 大研修室 倉吉市山根 529-2 0858-26-4441	倉吉交流プラザ 視聴覚ホール 倉吉市駄経寺町 187-1 0858-47-1181	上灘コミュニティセンター 会議室 倉吉市上灘町 9-1 0858-22-0640	エースバック未来中心 大ホール 倉吉市駄経寺町 212-5 0858-23-5390	伯耆しあわせの郷 大研修室 倉吉市小田 458 0858-26-5581	エースバック未来中心 セミナールーム3 倉吉市駄経寺町 212-5 0858-23-5390
報告者	報告1 伊藤 誠	報告1 佐々木利夫	報告1 山根 直美・松原 伸	報告1 安達 友子	報告1 原田 真紀・小原 弘行	報告1 澤田 直美・中江 人美	講義・演習(話し合い活動等) 岡 研司	
報告者加盟団体	社会福祉法人敬仁会	倉吉市社地区同和教育推進協議会	南部町立すみれこども園	鳥取市立古海児童館	倉吉市立東中学校	赤碕文化センター・北栄人権文化センター	公益社団法人 鳥取県人権文化センター	
報告題	外国人介護人材が働きやすい職場づくり ～倉吉ダイバシティーを目指して～	社地区町内学習会のコロナ禍に おけるピフォー&アフターの取組	じぶんがだいすき みんなもだいすき ～自尊感情を育む保育を通して～	ひとりひとりを大切に ～[あそび・であい・いばしょ]が言葉～	東人権宣言の取り組み ～人権が尊重される学級・学校をつくる～	地域と共に取り組む 隣保館	公益社団法人 鳥取県人権文化センター 「笑い」に潜む差別性とう向き合うか	
報告内容	介護人材不足が深刻化するなか、 当法人では平成30年より外国人 介護人材の受け入れを開始しまし た。当法人が行ってきた取組み を報告すると共に、法人が目指す 多文化共生社会についてお伝えし ます。	コロナ禍以前、社地区自治公民館 18地区では、対面の町内学習会を 統一テーマで実施し、地区によっ ては小学6年生、中学2年生も参 加するなど積極的に取り組んでき ました。そして、コロナ禍に負けず、 創意工夫をして取り組んできたこ とを報告します。	生きる力の基礎となる「自尊感情」 を育むための保育について取り組 んできました。子ども達が自己肯 定感を高め、自信をもって生活で きるように、どう取り組んできた のか、子ども達の姿がどのように 変容していったのか、そして今後 に向けてどのような課題を持って いるのかを報告します。	古海児童館では、いつでも楽しい・ 安心・安全な児童福祉施設として、 あそびを通して仲間づくりや思い やりの心を育む子どもたちの支援 をしています。児童館の活動から 見える子どもたちの姿と職員の関 わりについて報告します。	本校の校訓である「躍進東中～自 学・自主・共生～」のもと、日々 の学校生活から生徒と教職員がと もに人権尊重の実現を目指してい ます。その取り組みの中の一つで ある「東人権宣言」を柱とした活 動内容、成果等を報告します。	隣保館の役割は、誰もとり残さな い、しあわせを願った「居場所」「つ ながり」への地域づくり支援です。 人と人の関係があるからこそ、事 業の展開が拡がりを見せ、隣保館 だけではできない「生きる力」を 模索し続けています。	あなたは、日頃、どんなことにお かしさを感じ、笑っていますか。し かしてその笑いは、あなたの他に 誰が笑い、誰が笑えていないので しょうか。そこに差別や抑圧、排 除の論理は働いていませんか。 本講座では、「笑い」と差別」を巡る いくつかの論点について、分析作 業や討議を交えながら考えを深め ていく予定です。 学校や職場、地域、メディアなど、 あらゆる領域に関わる「笑い」に ついて、人権の観点からそのリテ ラシーを高め、あなたや誰にとっ ても生きやすい環境づくりに役立 ててみませんか。	
報告者	報告2 佃 亜紀・大門 康裕	報告2 森田 和男	報告2 吉田 亘	報告2 景山 敬文・山本 育朗	報告2 岡垣 祐二	報告2 上口 俊一	本講座では、当センターがR4年度に 作成した人権学習教材「innovation (イノベーション)」を使ってグル ープワークをしながら、昨今、様々 な人権問題を考える上で注目され ている「マジョリティ特権」等の 概念についてお話しします。	
報告者加盟団体	河原共助会・河原人権福祉センター(鳥取市)	鳥取市用瀬町地区同和教育推進協議会	倉吉市立関金小学校	江府町立奥大山江府学園	鳥取県立鳥取中央育英高等学校	部落解放同盟鳥取県連合会		
報告題	ふれあい食堂を中心に共生社会をつくる ～河原共助会の居場所づくりの取組～	同和問題を主軸とした小地域懇談会	我がふるさとの課題に立ち向かった 子どもたち ～思いをつなぎ、人と つながり、実社会とつながるへ～	キャリア発達を通じた人権意識の育成 ～施設分離型義務教育学校の 特徴を生かして～	鳥取県中部地区高等学校人権・ 同和教育研究会の現状と展望	部落差別の現状から見えること		
報告内容	ふれあい食堂は河原人権福祉セン ターと河原共助会が連携し運営す る地域食堂です。利用者とボラン ティアという垣根がなく、地域の 人々が互いに支え合う世代を超え た地域共生の拠点です。河原共助 会の取組、子どもの居場所「のん びりかふえ」について紹介します。	用瀬町地区は、同和問題を主軸と して小地域懇談会を開催し人権教 育・啓発を行ってきています。コ ロナ禍以前には、町内で起きた差 別事象を朗読劇にして、学習が可 能な集落で開催しました。コロナ 禍明けからは、30集落の意見を尊 重し、希望に沿うような対応も視 野に入れていきます。	ふるさとの目の前にある課題に目 をそらすず、協働し活動すること を通して、人間関係やくらしを豊 かにしていこうとする意欲や態度 を育てることを目指しています。 子どもたちが歩んできた軌跡を紹 介します。	社会の中で役割を果たしながら自 分らしく生きるためのキャリア発 達の過程で、児童生徒達は人権感 覚を磨いていきます。施設分離型 義務教育学校の特徴を生かした キャリア教育を通じて人権意識を 育む取組を報告します。	生徒たちの声をスタートとして人 権にこだわるとはどういうことか を組織的に議論し、さらに差別解 消の実現に向けて連帯することを 実践しています。中部地区高等学 校人権・同和教育研究会の事業内 容と課題、また今後の展望を報告 します。	差別事象として、確信的なもの とともに、部落問題について「知 らない」「自分には関係ない」とい う意識からくる言動で当事者を傷 つけ、不安にさせる事例が起こっ ています。近年の差別事象や被差 別体験からその背景を考えたいと 思います。		
司会者 (2名)	三好 和宏 琴浦町教育委員会	栗原 靖弘 三朝町教育委員会事務局	石井 美穂 鳥取県人権保育連絡会	古田あゆみ 鳥取県児童館連絡協議会	田村 昭夫 倉吉市成徳地区同和教育研究会	山根 正二 やまびこ人権文化センター	尾崎真理子 公益社団法人 鳥取県人権文化センター	中尾 和則 公益社団法人 鳥取県人権文化センター
	河崎 紀子 倉吉市上井地区同和教育研究会	植田 和夫 鳥取市人権推進課	西尾 孝博 鳥取市人権推進課	清水 伸哉 北栄町立大栄小学校	石橋 昌暁 鳥取県立倉吉総合産業高等学校	澤田 春美 部落解放同盟鳥取県連合会	～お願い～	
研究推進委員 (2名)	大森 英一 部落解放同盟鳥取県連合会	衣笠 尚貴 鳥取市人権情報センター	河村 邦行 鳥取県教育委員会人権教育課	市谷 誠裕 鳥取県教育委員会人権教育課	田中 暁宏 鳥取県教育委員会人権教育課	前田 英敏 さわやか人権文化センター	※全体会場の駐車場は、エースバック未来中心駐車場と上灘コミュニテイ センター駐車場をご利用ください。 ※分散会場への移動のためのシャトルバス等の運行はありません。 ※分科会の駐車場には限りがありますので、なるべく乗り合わせておい てください。 ※マスクの着脱につきましては、個人の判断を尊重します。ご理解をよ ろしく願います。	
運営委員	大江 広元	森 亜紀子	山下 千之 鳥取県人権保育連絡会	長岡美恵子 鳥取県児童館連絡協議会	大湊 義仁 鳥取県高等学校人権教育研究会	下吉 真二 部落解放同盟鳥取県連合会		
			平尾 節世	西村 敦郎	岡島 恒志	寺田 真里		